

厚生労働省北海道労働局発表
令和4年6月27日

担当
厚生労働省
北海道労働局労働基準部安全課
課長 八反田 健
副主任産業安全専門官 鍋岡 順子
代表電話：011-709-2311（内線 3552）
直通電話：011-788-6327

報道関係者 各位

令和4年の死亡労働災害による被災者は15人に

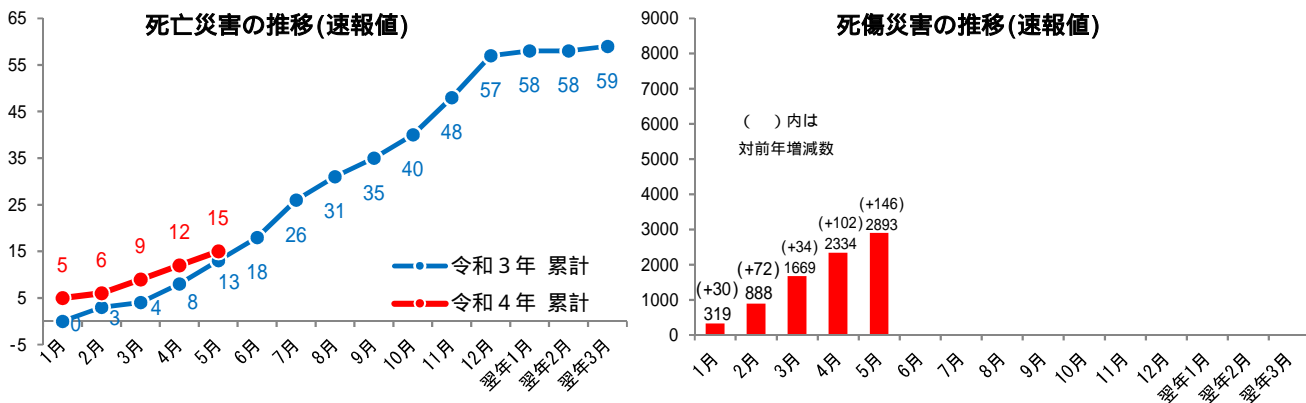
～令和4年の北海道内の労働災害発生状況(令和4年5月末現在速報値)～

北海道労働局(局長 友藤智朗ともふじとしあき)は、令和4年の労働災害発生状況(令和4年5月末現在速報値)について取りまとめたので、その内容を公表します。

令和4年の死亡労働災害は、前年同期と比較した増加率が今までの50%から15.4%と鈍化してきましたが、去年同期より2人多い15人となっています。これから夏場を迎えますが、去年は熱中症で4人が死亡しており、労働災害の発生が懸念されるところです。全産業で熱中症の発生など作業内容に応じたリスクを分析し、災害防止に努めましょう。

1 労働災害の月別推移

令和4年5月末現在の道内の労働災害による死亡者数は15人で、前年同期と比べて2人増加しており、休業4日以上の死傷者数は2,893人で、前年同期と比べて5.3%増加しています。

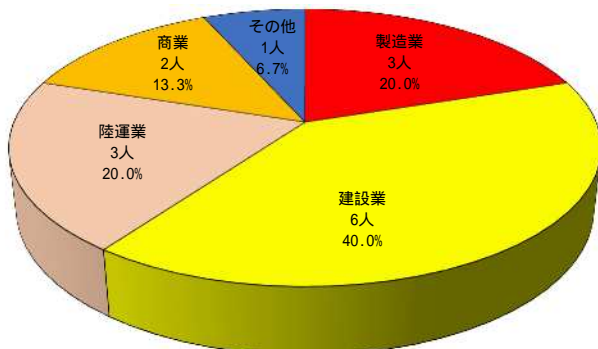


2 死亡災害発生状況

(1) 業種別の状況【資料番号1】

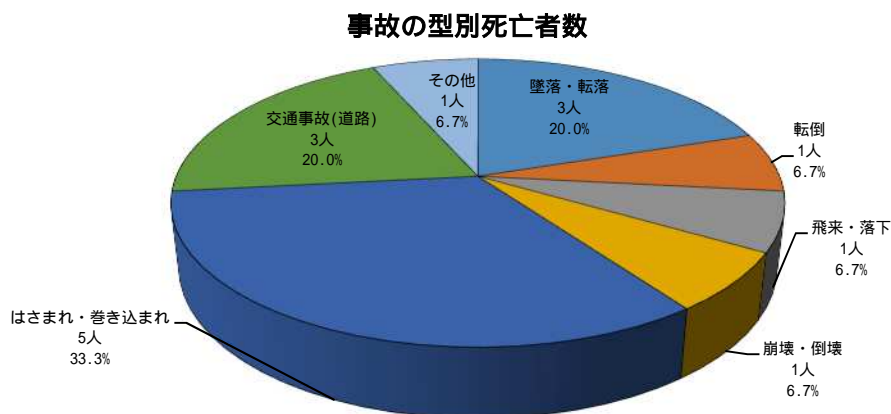
業種別では、建設業において6人と死亡災害の40.0%を占めており、次いで製造業及び陸運業が各3人、商業が2人です。

業種別死亡者数



(2) 事故の型別の状況【資料番号2】

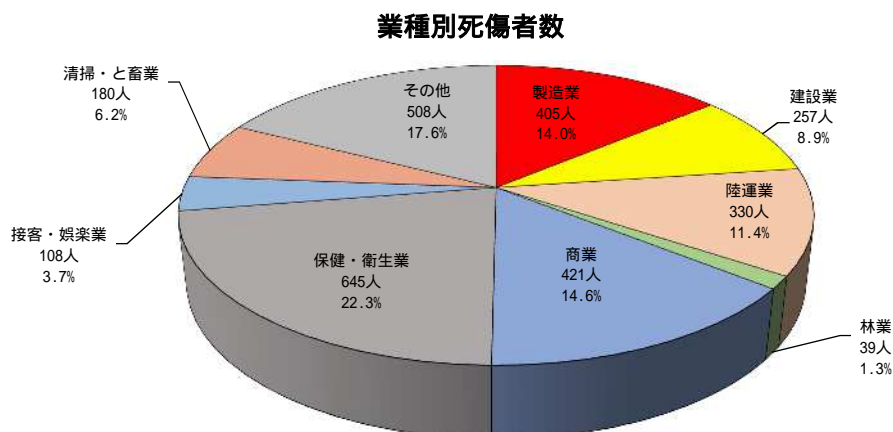
事故の型別では、「はさまれ、巻き込まれ」が5人、「墜落・転落」及び「交通事故（道路）」が各3人となっています。



3 休業4日以上死傷災害発生状況

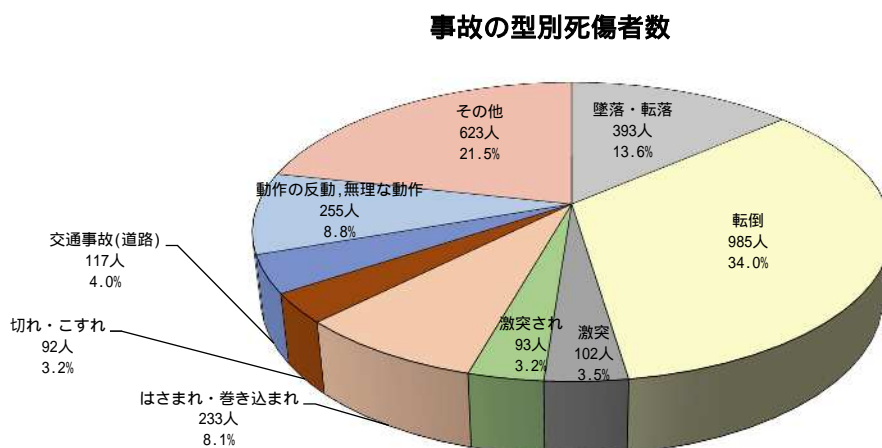
(1) 業種別の状況【資料番号3】

業種別では保健・衛生業が645人と最も多く、商業が421人、製造業が405人、陸上貨物運送事業が330人、建設業が257人の順となっています。



(2) 事故の型別の状況【資料番号4】

事故の型別では、「転倒」が985人で最も多く、「墜落・転落」が393人、「動作の反動、無理な動作」が255人、「はさまれ・巻き込まれ」が233人、「交通事故（道路）」が117人の順となっています。



4 北海道労働局の対応

北海道における労働災害防止のために、災害多発業種に対して業種ごとの災害特性に応じた重点的な災害防止対策を推進するほか、転倒災害等の業種を問わず多発している災害についても災害態様に応じた災害防止対策を推進しています。

(主な取組の推進)

「陸運業ゼロ災チャレンジ北海道」を実施します。

陸運業における死傷災害は第13次防目標に対し、達成が大変厳しい状況となっていることから、死傷災害を減少させるため、陸上貨物運送事業労働災害防止協会北海道支部と連携し、「陸運業ゼロ災チャレンジ北海道」を新たに実施することとしました。無災害を達成した事業場には達成期間に応じ、達成賞が授与されます。

申し込みの受付は7月1日から、陸災防北海道支部で受け付けします。

【実施期間：令和4年8月1日～令和5年1月31日】

参考：リーフレットのダウンロードはこちらです。

北海道労働局ホームページ内に移動します。

URL https://jsite.mhlw.go.jp/hokkaido-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/anzen_eisei/anzen-kankei/saigai/sonotanosaigaiboushi.html



- 職場における新型コロナウイルス感染症対策実施のため「取組の5つのポイント」を確認しましょう！

厚生労働省では、職場における新型コロナウイルス感染症対策の基本的事項である、取組の5つのポイントと感染防止対策の実践例を示し、事業場の実態に即した、実行可能な感染拡大防止対策の推進を呼びかけています。

参考：リーフレットのダウンロードはこちらです。

厚生労働省ホームページ内に移動します。

URL <https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/000736900.pdf>



- 「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」（取組期間：令和4年5月1日～9月30日）

北海道労働局では、労働災害防止団体などと連携して、「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」を展開し、暑さ指数の活用のほか、こまめな水分補給、休憩時間の確保など職場での熱中症予防のための重点的な取り組みを進めています。

【添付資料】

資料番号	1	令和4年における死亡災害発生状況
資料番号	2	令和4年における死亡災害発生状況（その他の事業の内訳）
資料番号	3	令和4年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
資料番号	4	令和4年 業種別労働災害発生状況（その1、その2）
資料番号	5	令和4年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況
資料番号	6	令和4年 署別・業種別死亡災害発生状況
資料番号	7	令和4年 死亡労働災害の概要（令和4年5月把握分）
資料番号	8	令和4年 有害物質による急性中毒等発生状況

労働災害統計表について

各年の災害統計は、翌年3月末までに把握した12月末までの休業4日以上の災害情報を集計して、統計値を確定しています。

令和4年の災害統計は、令和5年3月31日以降に確定することとなります。

令和4年における死亡災害発生状況 [速報]

令和4年1月1日～令和4年5月31日

北海道労働局

業種	令和4年		令和3年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全産業	15 (3)	100.0	13 (3)	100.0	2	15.4	2	20.0
製造業	3 ()	20.0	()		3	-	3	-
鉱業	()		()			-		-
建設業	6 (1)	40.0	3 (1)	23.1	3	100.0	3	150.0
交通運輸事業	()		()			-		-
陸上貨物運送事業	3 (1)	20.0	3 (2)	23.1			1	100.0
港湾運送業	()		()			-		-
林業	()		1 ()	7.7	-1	-100.0	-1	-100.0
その他の事業	3 (1)	20.0	6 ()	46.2	-3	-50.0	-4	-66.7

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年・昨年ともに集計期間に把握した速報値である。

令和4年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)

令和4年1月1日～令和4年5月31日

北海道労働局

業種	令和4年		令和3年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
その他の事業	3 (1)	100.0	6 ()	100.0	-3	-50.0	-4	-66.7
小売業	2 (1)	66.7	()		2	-	1	-
医療保健業	()		()			-		-
社会福祉施設	()		()			-		-
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	()		()			-		-
ビルメンテナンス業	()		()			-		-
ゴルフ場の事業	()		()			-		-
警備業	()		()			-		-
農業・畜産業	()		()			-		-
水産業	()		3 ()	50.0	-3	-100.0	-3	-100.0
その他	1 ()	33.3	3 ()	50.0	-2	-66.7	-2	-66.7

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年・昨年ともに集計期間に把握した速報値である。

業種別労働災害発生状況 その1

令和4年1月1日～令和4年5月31日

北海道労働局

業種別	令和4年			令和3年			対前年		業種割合 (%)	令和3年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計	15	2,878	2,893	13	2,734	2,747	146	5.3	100.0	59	8,088	8,147
製造業	3	402	405		420	420	-15	-3.6	14.0	3	1,214	1,217
食料品		197	197		226	226	-29	-12.8	6.8		654	654
木材・家具		39	39		46	46	-7	-15.2	1.3	1	111	112
紙・印刷		9	9		6	6	3	50.0	0.3		19	19
窯業・土石		25	25		15	15	10	66.7	0.9	1	48	49
金属・機械		56	56		51	51	5	9.8	1.9		172	172
その他	3	76	79		76	76	3	3.9	2.7	1	210	211
鉱業		1	1		1	1			0.0		2	2
土石採取業		5	5		5	5			0.2	1	23	24
建設業	6	251	257	3	248	251	6	2.4	8.9	20	939	959
土木工事業	2	97	99	2	87	89	10	11.2	3.4	11	348	359
建築工事業	2	99	101		93	93	8	8.6	3.5	6	377	383
木造建築業		26	26		33	33	-7	-21.2	0.9	1	118	119
その他	2	29	31	1	35	36	-5	-13.9	1.1	2	96	98
交通運輸事業		141	141		115	115	26	22.6	4.9	1	241	242
陸上貨物運送事業	3	327	330	3	298	301	29	9.6	11.4	8	856	864
道路貨物運送	3	310	313	3	269	272	41	15.1	10.8	8	795	803
陸上貨物取扱		17	17		29	29	-12	-41.4	0.6		61	61
港湾運送業		7	7		12	12	-5	-41.7	0.2		21	21
林業		39	39	1	26	27	12	44.4	1.3	1	73	74
水産業		32	32	3	26	29	3	10.3	1.1	3	127	130
商業	2	419	421	1	440	441	-20	-4.5	14.6	8	1,232	1,240
清掃・と畜業		180	180		131	131	49	37.4	6.2	2	398	400
上記以外の事業	1	1,074	1,075	2	1,012	1,014	61	6.0	37.2	12	2,962	2,974

(注) 本年・昨年ともに集計期間に把握した速報値である。

第13次労働災害防止計画進捗状況

5月末同月比

	死亡災害			死傷災害		
	被災者数	増減数	増減率	被災者数	増減数	増減率
基準年(平成29年)	28			2,095		
5年目(令和4年)	15	-13	-46.4%	2,893	798	38.1%

第13次労働災害防止計画の目標
平成29年と比較して令和4年までに…
・死亡者数を20%以上減少させる。
・死傷者数を5%以上減少させる。

業種別労働災害発生状況 その2

令和4年1月1日～令和4年5月31日

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

業種別	令和4年			令和3年			対前年		業種割合 (%)	令和3年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業		15	15		23	23	-8	-34.8	0.5	3	112	115
畜産業		96	96		103	103	-7	-6.8	3.3	1	275	276
金融・広告業		14	14		20	20	-6	-30.0	0.5	1	46	47
映画・演劇業		2	2		2	2			0.1		5	5
通信業		89	89		75	75	14	18.7	3.1		156	156
教育・研究業	1	18	19		27	27	-8	-29.6	0.7	1	74	75
保健衛生業		645	645		535	535	110	20.6	22.3	1	1,557	1,558
接客娯楽業		108	108	1	102	103	5	4.9	3.7	3	382	385
その他の事業		87	87	1	125	126	-39	-31.0	3.0	2	355	357
合計	1	1,074	1,075	2	1,012	1,014	61	6.0	37.2	12	2,962	2,974

「第三次産業」の内訳

業種別	令和4年			令和3年			対前年		業種割合 (%)	令和3年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業	2	419	421	1	440	441	-20	-4.5	14.6	8	1,232	1,240
うち 小売業	2	347	349		359	359	-10	-2.8	12.1	5	975	980
金融・広告業		14	14		20	20	-6	-30.0	0.5	1	46	47
映画・演劇業		2	2		2	2			0.1		5	5
通信業		89	89		75	75	14	18.7	3.1		156	156
教育・研究業	1	18	19		27	27	-8	-29.6	0.7	1	74	75
保健・衛生業		645	645		535	535	110	20.6	22.3	1	1,557	1,558
うち 社会福祉施設		419	419		355	355	64	18.0	14.5		994	994
うち 医療保健業		218	218		177	177	41	23.2	7.5	1	550	551
接客・娯楽業		108	108	1	102	103	5	4.9	3.7	3	382	385
うち 飲食店		52	52		49	49	3	6.1	1.8	1	185	186
うち 旅館業		21	21		26	26	-5	-19.2	0.7	1	102	103
うち ゴルフ場		5	5		7	7	-2	-28.6	0.2		46	46
清掃・と畜業		180	180		131	131	49	37.4	6.2	2	398	400
その他の事業		87	87	1	125	126	-39	-31.0	3.0	2	355	357
うち 警備業		23	23		32	32	-9	-28.1	0.8	1	84	85
合計	3	1,562	1,565	3	1,457	1,460	105	7.2	54.1	18	4,205	4,223

令和4年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況

令和4年1月1日～令和4年5月31日

北海道労働局

事故の型番号	業種番号											起因物番号																										
	1	2	3	4	5	6-2	7-2					11	12	13	14	15	16	17	21	22	23	31	32	33	34	35	36	37	39	41	51	52	61	71	91	92	99	
事故の型	製	鉱	土	建	道	そ	陸	港	林	水	そ	起	原	動	木	建	金	一	車	動	動	乗	圧	化	溶	炉	電	人	用	そ	仮	危	材		自	そ	起	分
	業	業	業	業	業	の	上	湾		産	の	因	機	機	材	機	属	般	向	力	力	力	学	接	・	気	機	機	の	設	険		然	の	因	類		
	造	採	設	路	道	他	貨	物	運	輸	交	物	動	電	加	工	用	力	系	ク	レ	機	容	容	装	窯	設	械	工	装	物	有	荷	環	物	不		
	業	取	送	貨	道	の	物	取	送	通	事	計	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	器	器	置	等	備	具	備	物	害	境	等	物	物	能		
1 墜落・転落	52		2	87	81	8	3	2	4	1	153	393				8	1	2	7	91	7		1			1	94	6	141		4	3	27					
2 転倒	122		2	55	99	83	6		3	8	607	985				5	2	1		25	15				4	15	39	12	304		8	4	526	2	23			
3 激突	20			7	17	1			2	2	53	102				2	1			21	5						8	17	5	24		3	3	10		3		
4 飛来・落下	25		1	24	9				8	1	26	94				4		5		2	4	1					9	14	2	3	1	21	13	13	2			
5 崩壊・倒壊	9			5	2	1			2		7	26				1	1			3							2	2		3		4	6	4				
6 激突され	10			12	10	1	1	1	6	1	51	93			1	3		2	2	1	8	3					9	5	1	3		7	5	40	2	1		
7 はさまれ・巻き込まれ	81			29	28	1	2	2	4	13	73	233	1	6	6	6	8	40	1	7	50	10					25	15	8	9		12	11	17		1		
8 切れ・こすれ	25			18	2				4	2	41	92			19		5	19									29	3	3	3		7	1	3				
9 踏抜き					1						1	2																		1		1						
10 おぼれ																																						
11 高温・低温の物との接触	10				2						14	26						1						3	1			6	4	2		2	1	5		1		
12 有害物等との接触	3			1							3	7																		6			1					
13 感電	1											1														1												
14 爆発											1	1												1														
15 破裂					1							1																		1								
16 火災																																						
17 交通事故(道路)	6			7	19	26			2		57	117				2					19	93							1				2					
18 交通事故(その他)				1							1	2										1							1									
19 動作の反動・無理な動作	23			9	40	13	5	1	4	3	157	255				1				2	12	7					8	8	2	33		6	32	22	12	110		
90 その他	18	1		2	2	7		1		1	430	462																					5	454	3			
99 分類不能											1	1																								1		
合計	405	1	5	257	313	141	17	7	39	32	1676	2893	1	6	26	32	13	72	6	19	233	142		1	4	1	5	106	203	44	528	7	75	79	675	473	142	

令和4年 署別・業種別死亡災害発生状況

令和4年1月1日～令和4年5月31日

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号	4号		5号		6-2号	7-2号	その他の事業	合計
	製造業	うち木材木製品製造業	鉱山保安法適用事業	土石採取業	建設業	道路貨物運送業	その他の運輸業	陸上貨物取扱業	港湾運送業	林業	水産業		
署別													
札幌中央					2							1	3
札幌東					1								1
函館					1								1
小樽													
岩見沢													
旭川												1	1
帯広												1	1
滝川	1												1
北見					1								1
室蘭							1						1
釧路	1						1						2
名寄													
留萌													
稚内													
浦河					1								1
苫小牧	1						1						2
倶知安													
計	3				6		3					3	15

死亡労働災害の概要(令和4年5月把握分)

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
4	5	8時台	建築工事業	10人未満	墜落、転落	仮設物、建築物等	共同住宅の屋上防水補修工事のため、被災者ら3名で屋上へ上がった後、被災者以外の2名が作業準備をしていたところ、現場の確認作業中の被災者が屋上から約30メートル下のアスファルトの地面へ墜落したものの。
4	5	13時台	道路貨物運送業	10人以上29人	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は、10tダンプトラックで肥料（甜菜製糖工場から出るライムケーキ）を積んだ後、国道274号線を走行していたところ、何らかの原因により当該車両が横転して路外に逸脱し、被災者は運転席から投げ出され、車両の下敷きになったもの。

令和4年 有害物質による急性中毒等発生状況

北海道労働局 令和4年5 月末現在

	発生月	時刻	業種	規模	災害の状況	
1	3	14時台	その他の建設業	10人未満	<p>商業ビルの店舗内において、ガソリンエンジン式高圧洗浄機を用いて排水管の洗浄作業を代表者1名ほか4名で行っていたところ、当該洗浄機の排気ガスが店舗内に充満し、当該洗浄機付近で作業していた労働者1名が倒れたため、代表者は社用車で作業員全員を休憩させた。他の労働者1名も寒気を訴えたため、代表者は店舗経営者に救急車を呼ばせ、作業員全員を医療機関に搬送させた結果、全員が一酸化炭素中毒と診断されたもの。</p> <p>[一酸化炭素中毒:被災者4人(休業4日以上)]</p>	
2	4	9時台	浴場業	30人以上50人未満	<p>男性トイレを清掃中、便器に酸性洗剤をかけ、浸している間に異臭が発生し、気分が悪くなり、病院で「塩素ガス中毒」と診断され入院した。</p> <p>[その他の中毒:被災者1人(休業4日以上)]</p>	
合計	発生件数	2	内訳	<p>一酸化炭素中毒 1 件 酸素欠乏症 0 件 硫化水素中毒 0 件 その他の中毒 1 件</p>		
	被災者数	5	内訳	<p>死亡 0 人 休業4日以上 1 人 休業4日未満 4 人 不休 0 人</p>		